

近畿日本鉄道 鉄軌道路線のご案内

● 沿線の世界遺産
● 特急停車駅



近鉄電車テレフォンセンター
050-3536-3957
(8:00~21:00/年中無休)

株主優待乗車証のICカード載せ替えサービス開始および対象路線変更(近鉄バスの除外)について

基準日時点で5,100株以上ご所有の株主様に対し発行している株主優待乗車証について、**2025年(本年)12月1日から、株主優待乗車証をICカード「ICOCA」に載せ替えてご利用いただけるサービスを開始できるよう準備を進めております。**詳細については、サービス開始時にご案内申し上げます。

なお、株主優待乗車証については、これまで近鉄バス株式会社のバス路線にもご乗車いただきましたが、誠に勝手ながら、**2025年(本年)12月1日ご利用開始となる株主優待乗車証から取扱いを変更し、近鉄バス路線にはご乗車いただけないことといたします。**何とぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

近鉄グループホールディングス株式会社
〒543-8585 大阪市天王寺区上本町6-1-55
TEL. 06-6775-3445
企業情報サイト <https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/>

Kintetsu Report

第114期 事業活動のご報告
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで



近鉄グループホールディングス株式会社
証券コード：9041



「近鉄グループ長期ビジョン2035・中期経営計画2028」に基づき、 企業価値と株主価値の向上を目指してまいります。



代表取締役会長 都司 尚



代表取締役社長 若井 敬

» ごあいさつ

平素は、当社グループの事業運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このほど、第114期事業年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)の業績がまとまりましたので、各事業における最近の取組みなどと合わせて、ご報告申し上げます。

当期は、アフターコロナの旅客需要、消費需要の回復等により各事業とも増収となり、連結営業収益は

前期を上回る水準となりました。各段階利益については、国際物流業で運賃原価が高騰し減益となったことなどにより前期を下回りましたが、経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益は期初の想定を上回ることができました。

期末配当につきましては、1株につき25円、中間配当の25円と合わせて年間50円とさせていただきます。

» 今後の事業展開

今後の当社グループを取り巻く事業環境は、インバウンド需要の拡大に加え、大阪・関西万博、大阪IR等を契機とした地域経済の活性化が見込まれる一方、人口減少・高齢化、物価・金利の上昇、地政学リスクの高まり、地球温暖化などの影響を受けるものと予想されます。

このような事業環境に適切に対応し、当社グループが将来にわたりマルチステークホルダーの皆様から信頼され選ばれる存在となるため、本年3月に「近鉄グループ長期ビジョン2035・中期経営計画2028」を策定いたしました。これらの具体的な内容は次ページ以降に記載しておりますので、ご高覧ください。

各部門別の中長期的な重点施策として、鉄軌道事業では、省エネ効果の高い新型一般車両の導入を拡大するとともに、DX、ITによる業務効率化を進め、安全輸送を大前提とした効率的な事業体制の強化を図ります。また、沿線活性化と需要喚起の取組みによる収入の拡大を目指してまいります。

不動産業では、沿線主要駅前での再開発や首都圏等沿線外の開発プロジェクトを推進するとともに、アセット事業およびマンション事業に加えて仲介・リフォームなどのハウジング事業の強化を図ります。また、海外での業容拡大にも取り組んでまいります。

国際物流業では、グローバルに事業展開する大手顧客を中心とした更なる販売強化のほか、競争優位性のあるアジア市場でのシェア拡大や、エレクトロニクスや

ヘルスケア等、今後も成長が期待できる重点品目の取扱物量の拡大を通じて、成長に努めます。

流通業では、あべのハルカス近鉄本店および周辺施設のリモデルを通じたあべの・天王寺エリアの魅力向上に取り組むとともに、地域店における地域のインフラ機能の提供や、駅ナカ活性化に向けた取組み等により、地域の価値向上に貢献してまいります。

ホテル業では、世界水準のサービスクオリティを追求し、国際的にも確固たる評価の獲得を目指します。また、テキサス州プレイノ市において新たなホテルを開発するなど、国内外を問わず、直営型と運営受託型の両軸で運営ホテルの拡大を図り、収益力とブランド力の向上に取り組んでまいります。

旅行業では、地元関係者との連携を通じた地域共創モデルの構築や訪日ツアーの誘致等により、成長領域である地域共創事業および訪日事業の拡大に取り組んでまいります。

これらの施策を着実に推し進めるとともに、マルチステークホルダーの皆様とのエンゲージメントを一層充実させることで、企業価値と株主価値の向上を目指してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月

「近鉄グループ長期ビジョン2035・中期経営計画2028」を策定

変化する事業環境に適切に対応し、選ばれ続ける企業グループとなるために、超長期的に近鉄グループが目指す方向性を明示した上で、長期的（10年後）に「ありたい姿」を取り纏めた「近鉄グループ長期ビジョン2035」を策定し、そこからバックキャスト思考で中期的な目標・施策を設定した2028年度を最終年度とする「近鉄グループ中期経営計画2028」を定めました。

近鉄グループが目指す方向性

地域社会のパートナー、そして新しい“時代”へ

～「近鉄グループにしかできないこと」にチャレンジし続ける～

2021～24年度

中期経営計画2024 基本方針

コロナ禍から回復し、新たな事業展開と飛躍に向かうための経営改革

		2024年度実績	2028年度計画
収益性	営業利益	843億円	1,000億円以上
	資金調達	純有利子負債 1兆255億円	1兆円未満でコントロール
経営効率	ROE	8.8%	更なる向上
	ROIC 新指標	4.2%	4.5%以上
財務規律	自己資本比率	21.7%	25%以上
	純有利子負債/EBITDA倍率	6.8倍	6.0倍程度

2025～28年度

中期経営計画2028 基本方針

価値を創造する企業グループへの進化に向けた「新たな基盤構築」と「着実な成長」

2035年度

グループ長期ビジョン

グループ総力の結集と果敢なチャレンジにより、国内外での暮らし・交流を支えるビジネスを柱に、持続的に価値を創造する企業グループへ進化

種まきと育成期

土壌造り期

開花と刈り取り期

バックキャストで目標・施策を設定

ROICの導入意図

資本コスト・効率性を、より強く意識した経営を実装する

各グループ会社のROICを認識・管理し、その向上に向けた資本効率の改善を企画
グループ全体のポートフォリオ管理に活用し経営資源のアロケーションを最適化

→ グループ全体の資本効率を高め 企業価値、株主価値の向上につなげる

重点戦略の取組み

沿線の価値深化・活性化

近鉄グループであるからこそできる、心が躍る沿線価値を創造

1 あべの・上本町・なんばの魅力拡充

長期ビジョン あべの・上本町・なんばを大阪の「住みたい・行きたい」一大広域エリアへ

中期経営計画の取組み

あべのハルカスを軸にしたエリアの魅力向上や大阪上本町駅の機能強化により、ターミナルの更なる活性化を企図



開業10周年を経たあべのハルカス近鉄本店の「リモデル」を軸にした新たな魅力の創出
エリアの魅力最大化に向けた推進体制の構築



夢洲と近鉄沿線をつなぐ上本町バスターミナルの再整備をフックに大阪上本町駅のハブ機能強化
◀ 近鉄上本町バスターミナル

2 伊勢志摩のブランド力強化

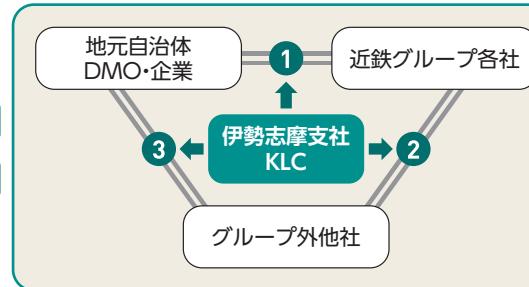
長期ビジョン 伊勢志摩を多様性と上質感に磨きかけた付加価値の高いエリアへ

中期経営計画の取組み

ハード面整備の準備を進めながら、ソフト面を大幅に強化

2023年7月 伊勢志摩事業の強化を目的に

伊勢志摩支社を設置
近鉄レジャークリエイティブ(KLC)を組成



伊勢志摩支社とKLCが地域の核となり、状況に応じて

- ① 支社/KLC × 地元 × グループ
- ② 支社/KLC × グループ × 他社
- ③ 支社/KLC × 他社 × 地元

の体制を構築して、伊勢志摩のポテンシャルの顕在化に向けた具体的施策を推進

式年遷宮に向けた取組み 首都圏からの来訪者の取込み インバウンド観光客の取込み 事業基盤の再構築

沿線の価値深化・活性化

近鉄グループであるからこそできる、心が躍る沿線価値を創造

3 夢洲周辺ベイエリア開発による事業拡大

長期ビジョン 夢洲周辺ベイエリアを新たなビジネスチャンス創出の場へ

中期経営計画の取組み

大阪・関西万博に加えて、2030年の開業を目指している大阪IR等により、今後発展が見込まれるベイエリア開発をビジネスチャンスと捉えて、事業拡大に向けた取組みを加速

大阪・関西万博に関する事業展開

- 万博会場内での出店
- 夢洲への送客および近鉄沿線への誘客強化

会場内オフィシャルストア ▶



大阪IRに関する事業展開

- 大阪IRとの連携強化
- 夢洲と近鉄沿線を直接結ぶ列車の導入

運行中のけいはんな線車両 ▶



4 インバウンド需要の取込み拡大

長期ビジョン 沿線エリアをインバウンド旅行者の憧れの場へ

中期経営計画の取組み

- インバウンドのあらゆるビジネス機会をグループで包括的にマネジメント
- 2028年度でのインバウンドによる収益を2024年度比で、1.4倍以上に伸長

戦略	グループで包括的にマネジメント				
	タビマエ	タビナカ	タビアト	タビマエ	タビアト
	誘客・呼び込み	コンテンツ開発・運営	アクセス・宿泊	買物	リピーター獲得
	● 海外販売力を強化し、団体のインバウンドの取込み ● 台北支社をフックとしたアジアインバウンドの誘致	● 自治体と連携し、DMC運営の事業モデル確立 ● 着型ツアー/イベントの開発・運営 ● インバウンド向けクラブツーリズム事業を拡大	● 特に2次交通を整備し、インバウンドが訪れやすい環境を構築 ● グループ・チェーンホテルも最大限活用	● 万博を契機とした、地域連携・相互送客 ● グループ商品/サービスのパッケージ販売	● 購買データを活用し再訪問に向け接点の構築 ● 利用者分析によるより効果的な誘客策の実施
関わる事業	旅行	旅行・運輸	運輸・ホテル	百貨店	ホテル・百貨店

沿線外・グローバルでの事業深化・拡張

果敢なチャレンジにより 新たな近鉄グループのプレゼンスを構築・伸長

5 首都圏、沖縄など沿線外での事業基盤強化、事業ドメイン拡大

- 長期ビジョン
- 首都圏等でのグループ連携機能の強化により、第二のホームエリアへ
 - 観光レジャー事業により沖縄の発展に貢献する企業グループへ

中期経営計画の取組み

首都圏のグループ基盤強化、更には沖縄での外部パートナー協業等沿線外の事業拡大に向けて新たな事業基盤を構築

首都圏におけるグループ経営基盤の大幅強化

- 首都圏におけるマーケティング機能の深化・拡大
- グローバル事業の統括機能強化
- 成長事業を牽引する人財の採用機能強化

出資・提携等による沖縄での外部パートナーとの協業推進

「JUNGLIA OKINAWA」の運営会社への出資を通じた協業推進

オリオンビール(株)との資本業務提携に基づき、ホテル事業を中心とした協業推進



金沢駅前での新たなランドマーク創出に向けた検討・協議推進

6 グローバルでの事業の深化・拡大、プレゼンスの向上

- 長期ビジョン
- 国際物流事業における日本発祥のグローバルブランドへ
 - アジア圏で幅広く事業展開するグローバル企業グループへ
 - 国際物流事業のほかホテル・不動産事業でも、米国市場で認められる企業グループへ

中期経営計画の取組み

- 国際物流のアジア市場にて、重点地域における物量・販売の増加等による業容の拡大
- 北米におけるホテル・不動産事業の拡大

国際物流のアジア市場攻略

日本発着、イントラアジアの実績をベースとした更なる販売強化による物量の拡大など

ホテル

テキサス州プレイノ市(ダラス近郊)において、新たなホテルを開発(2027年度竣工予定)

長期的な成長分野として、不動産事業と連携しながら自社保有とMC方式(マネジメントコントラクト)のバランスを取りながら拡大を企図

北米での事業拡大

不動産

米国における不動産開発への参画



▲ 新ホテル(イメージ)

TOPICS 01 近鉄グループは、大阪・関西万博に関連したさまざまな取組みを進めています

近 畿日本鉄道は、3月21日(金)から10月13日(月・祝)まで、近鉄電車フリー乗車券と大阪・関西万博入場チケットがセットになった「大阪・関西万博入場チケット付き記念きっぷ」を、数量限定で販売しています。このきっぷは、万博公式キャラクター「ミャクミャク」を使用したオリジナルデザインを施し、万博来場記念としていただけるよう、万博入場チケットも記念チケットタイプ(ストラップ付き)としました。*数量限定のため、なくなり次第販売を終了します。

大阪・関西万博入場チケット付き記念きっぷ ▶



©Expo 2025
2025大阪・関西万博
公式ライセンス商品



▲ 2025大阪・関西万博 会場内オフィシャルストア 西ゲート店 KINTETSU

近 鉄百貨店は、大阪・関西万博会場内に、「2025大阪・関西万博 会場内オフィシャルストア 西ゲート店 KINTETSU」を出店しています。店内は、木調のデザインで統一され、「自然の温もりを感じる居心地の良い空間」を演出。奈良の老舗「中川政七商店」とコラボし、日本工芸で表現したミャクミャクのオブジェや、全国の銘菓など、地域の魅力を世界に伝えるオリジナル商品を販売しています。

万博行くなら
近鉄で遊び
グループ
つくそう!

万博行くなら近鉄グループで遊びつくそう!

近鉄グループの万博関連旅行商品や、サービスを随時掲載。当社の沿線である大阪・奈良・伊勢志摩地域の魅力あふれる周遊モデルコースなど、万博と合わせてお楽しみいただける情報を紹介しています。

Webサイトを公開中

アクセスは
こちらから

TOPICS 02 ラッピング列車 「ミジュマルライナー」がデビュー

「ミジュマルライナー」
特設サイト



近 畿日本鉄道では、三重県、株式会社ポケモンと連携し、大阪・京都・名古屋と伊勢志摩を結ぶ特急「伊勢志摩ライナー」に、みえ応援ポケモン「ミジュマル」の装飾を施したラッピング列車を2月27日(木)から運行しています。ラッピング列車の愛称は、「ミジュマルライナー」。特急車両外装への全面ラッピングは近鉄初です。外装には、ミジュマルとともに、伊勢志摩をはじめ三重県の自然あふれる景観などをモチーフにデザイン。車内にも、展望デッキや、サロン席・ツイン席・レギュラー席の座席、ドアなど各所に、さまざまな表情のミジュマルをデザインして、伊勢志摩への楽しい旅の空間をご提供します。



▲「ミジュマルライナー」



▲ サロン席・ツイン席

©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

TOPICS 03 オフィス・商業施設からなる複合施設 「(仮称)上本町六丁目ビル」着工

近 鉄不動産は、大阪市天王寺区上本町六丁目にて、オフィス・商業施設等を配した複合ビル「(仮称)上本町六丁目ビル」の建築に着手しました。本物件は、近鉄「大阪上本町」駅、Osaka Metro「谷町九丁目」駅の複数路線が徒歩圏内にあり、千日前通りに面した利便性の高いエリアに位置する鉄骨造・地上12階建のビルです。建物竣工は2027年2月を予定しています。当該土地で2021年まで長年、地域の皆様に愛され営業を続けてきた中国料理「百楽」も、再出店する計画です。近鉄グループの施設が集積し交通結節点である上本町において、引き続き上本町ターミナルの機能向上に向けた検討を進めてまいります。



▲ (仮称)上本町六丁目ビル 外観パース(イメージ)

TOPICS 04 インドネシア法人、BPJPHハラル認証を取得

近 鉄エクスプレス(KWE)のインドネシア現地法人であるPT. Kintetsu World Express Indonesia(KWEインドネシア)とPT. Kintetsu Logistics Indonesia(KWEロジスティクスインドネシア)は、2024年12月にインドネシア唯一の国家機関であるBPJPHから、倉庫および輸送サービスにおいて、ハラル認証を取得しました。審査や監査が非常に厳格なBPJPH認証は、日本を含む約60の各国認証機関と相互認証されており、認証を取得した製品は、各国で個別の認証を改めて取得することなく流通させることが可能です。急速に拡大するハラル市場に伴い、今後、KWEグループは一層連携を深め、さらなるビジネス拡大とグローバルハラル物流の展開を図ってまいります。



▲BPJPHのハラル認証マーク

TOPICS 05 志摩醸造 (Shima Brewery) に
タップルーム「Craft Beer Stand」を開業

近 鉄リテーリングは、近鉄鶴方駅1階に開設したクラフトビール醸造所「志摩醸造 (Shima Brewery)」に併設して、醸造風景を眺めながら、できたてのクラフトビールを楽しむことができるタップルーム「Craft Beer Stand」を3月15日(土)、開業しました。志摩醸造オリジナルクラフトビールは、3種類 (GOLDEN ALE、COLD IPA、PALE LAGER) を販売。今後、志摩醸造オリジナルクラフトビールは、樽、缶ビール、瓶ビールとして、伊勢志摩エリアのホテルや飲食店および志摩醸造オンラインショップでの販売を予定しています。



▲外観



▲タップルーム

TOPICS 06 規格外いちごを使用した
「はるかすまいる de Chocolat」を販売

近 鉄百貨店、近鉄リテーリング、近商ストアは、近鉄百貨店が自社農場で育てたいちご「はるかすまいる」(品種:紅ほっぺ)を使用したチョコ菓子「はるかすまいる de Chocolat」を開発し、近鉄百貨店各店をはじめ、近商ストアや近鉄リテーリングが運営する各店舗で、1月17日(金)から販売しています(数量限定。売り切れの際はご容赦ください)。形が不揃いであるなどの理由で、販売が難しかった規格外の「はるかすまいる」を使用した、「もったいないを美味しく解決!」がコンセプトのチョコ菓子です。近鉄グループ流通3社では、今後もグループならではの開発力や販売網を活かして、フードロス削減や近鉄沿線の魅力向上をめざした取組みを進めてまいります。



▲「はるかすまいる de Chocolat」

TOPICS 07 シェラトン都ホテル大阪17階の全客室をリノベーション。
「エグゼクティブフロア」としてオープン

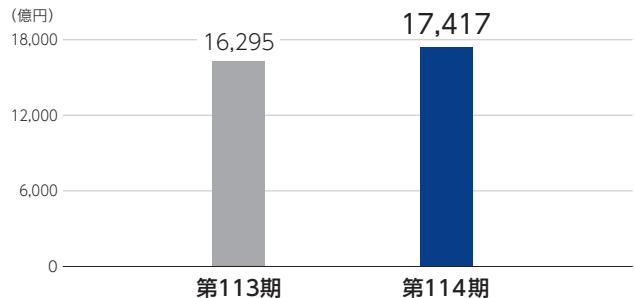
シ エラトン都ホテル大阪は、17階の客室フロア(42室)を全面リノベーションし、「エグゼクティブフロア」として4月1日(火)、オープンしました。「Urban Refinement」をコンセプトに、都会的で洗練されたスタイリッシュなデザインに、障子、欄間、屏風、行燈など和のエッセンスを取り入れ、温かみのある落ち着いた和モダンな客室へとリニューアル。また、日本の伝統色「都鼠(みやこねず)」や明るい木目を取り入れるなど、より居心地良く快適に生まれ変わった空間をご提供してまいります。



▲エグゼクティブフロア ジュニアスイート

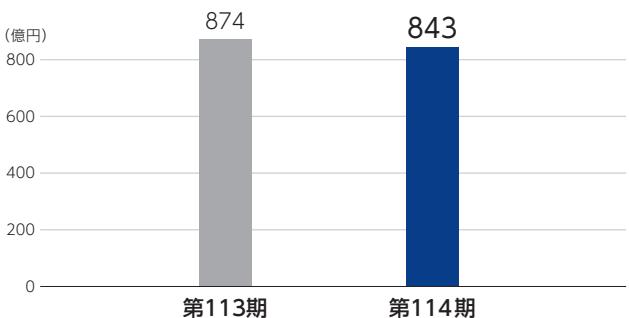
営業収益

旅客需要、消費需要の回復や、円安継続に伴うインバウンド需要の増加等による運輸業、流通業やホテル・レジャー業での増収に加え、国際物流業で取扱物量の増加と販売価格の上昇が進み、連結全体で増収となりました。



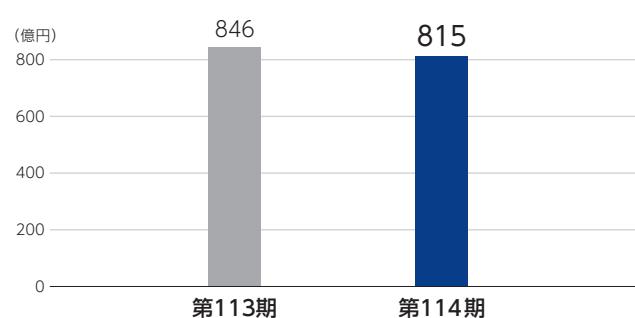
営業利益

不動産業でマンション売上原価や諸費用が増加したほか、国際物流業でも運賃原価の高騰により利益率が低下したこと等により、連結全体で減益となりました。



経常利益

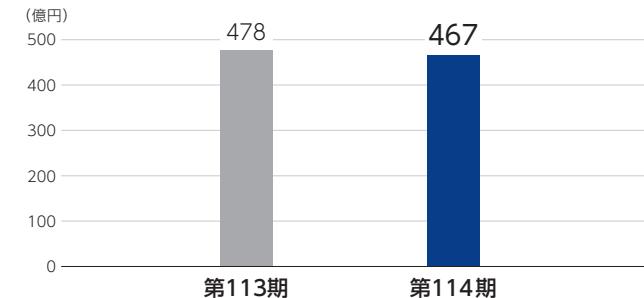
営業外損益で円安継続に伴い為替差益が増加した一方で、金利上昇に伴い支払利息も増加したため、減益となりました。



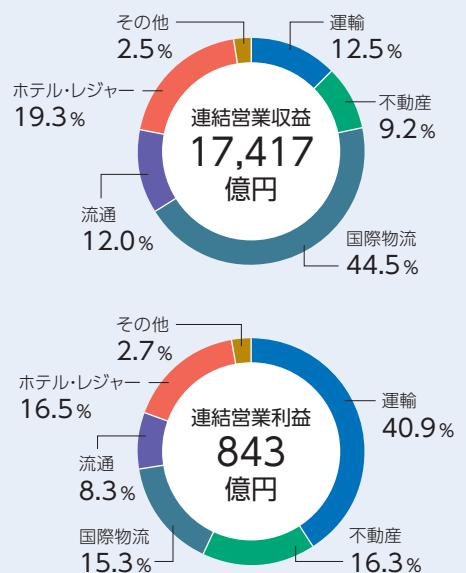
純利益

特別損益で投資有価証券売却益が増加しましたが、経常利益の減少が大きく、減益となりました。

※第114期から「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号)等を適用しており、第113期の純利益の金額は当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。



事業別の概況 (セグメント別構成比)



運輸 47社 (うち、連結子会社 22社)

鉄軌道事業で、好調なインバウンド需要に加え、名阪特急の利用旅客や伊勢志摩方面への観光需要が堅調に推移したほか、2023年4月に実施した定期運賃改定の効果が当期は期首から寄与したため、増収増益となりました。

〈営業収益・営業利益〉

期	営業収益 (億円)	営業利益 (億円)
第113期	2,118	322
第114期	2,232	346

不動産 13社 (うち、連結子会社 5社)

不動産販売業でマンション販売価格が上昇したほか、買取再販事業が好調に推移したため、増収となりましたが、マンション売上原価や費用の増加により減益となりました。

〈営業収益・営業利益〉

期	営業収益 (億円)	営業利益 (億円)
第113期	1,575	151
第114期	1,653	138

国際物流 131社 (うち、連結子会社 127社)

取扱物量の増加と販売価格の上昇が進んだため増収となったものの、運賃原価の高騰により利益率が低下したため減益となりました。

〈営業収益・営業利益〉

期	営業収益 (億円)	営業利益 (億円)
第113期	7,338	175
第114期	7,969	129

流通 12社 (うち、連結子会社 10社)

百貨店で、あべのハルカス近鉄本店における特選ブランドの強化やフランチャイズ事業の拡充に加え、免税売上や外商売上が高額商品の販売を中心に好調に推移したため、増収増益となりました。

〈営業収益・営業利益〉

期	営業収益 (億円)	営業利益 (億円)
第113期	2,120	57
第114期	2,153	70

ホテル・レジャー 34社 (うち、連結子会社 28社)

ホテル業でインバウンド需要の増加等により宿泊利用が大きく増加したほか、観光施設で各種コラボイベントが好調に推移し志摩スペイン村の入場者数が大幅に増加したこと等もあり、増収増益となりました。

〈営業収益・営業利益〉

期	営業収益 (億円)	営業利益 (億円)
第113期	3,174	134
第114期	3,449	139

※各事業の営業収益の金額には、セグメント間の内部売上高等が含まれております。※各事業の会社数には非連結※グループ内組織再編に伴い、第114期より、ホテル・レジャー業に含まれていた人材派遣業を、その他の区分に

子会社および関連会社を含んでおりますが、営業収益には非連結子会社および関連会社を含んでおりません。変更しております。

会社概要 (令和7年3月31日現在)

設立 昭和19年6月 (前身の奈良軌道株式会社は明治43年9月)
資本金 126,476百万円

役員 (令和7年6月20日現在)

代表取締役会長	都司 尚
代表取締役社長	若井 敬
代表取締役副社長	米田 昭正
取締役相談役	小林 哲也
取締役 専務執行役員	林 信
取締役 常務執行役員	笠松 宏行
	常務執行役員 上田 尚義
	常務執行役員 菅浦 隆弘
取締役 (社外取締役)	片山 登志子
(社外取締役)	長岡 孝
(社外取締役)	三笠 裕司
(社外取締役)	高橋 宏輔
監査役 (常勤)	松本 昭彦
	中村 哲夫
監査役 (社外監査役)	前田 雅弘
(社外監査役)	鈴木 一水
(社外監査役)	井上 美智子

株式の状況 (令和7年3月31日現在)

1. 発行可能株式総数 500,000,000株
2. 発行済株式の総数 190,662,061株
3. 株主数 245,994名

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 なお、中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日といたします。
株主名簿管理人/ 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL. 0120-094-777 (通話料無料) ※「郵送物の発送と返戻」、「支払期間経過後の配当金」 および「特別口座」につきましては、上記連絡先にお 問い合わせください。 特別口座に関する手続書類につきましては、 下記の方法でもご請求いただけます。 ●インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告方法	電子公告 https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告 をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

第114期定時株主総会を開催いたしました

令和7年6月20日開催の当社第114期定時株主総会において、次のとおり報告ならびに決議(原案どおり承認可決)されましたので、ご報告申し上げます。

報告事項	決議事項
第114期(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)事業報告、連結計算書類および計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件	第1号議案 剰余金の配当の件…… 期末配当として当社普通株式1株につき25円の剰余金の配当を実施することを決定いたしました。 第2号議案 取締役12名選任の件… 候補者12名全員が選任され、それぞれ就任いたしました。 第3号議案 監査役1名選任の件… 監査役辞任に伴い、補欠として候補者1名が新たに選任され、就任いたしました。

決議内容の詳細情報は、当社ホームページに掲載しております。 <https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/ir/kabunushi/index.html>

株主優待のご案内

毎年3月31日、9月30日を基準日として、株主の皆様に対し、ご所有の株式数に応じて次のとおり優待を行っております。

乗車券、乗車証

下表の基準により発行いたします。

ご所有株式数	近畿日本鉄道線 沿線招待乗車券	株主優待 乗車券	株主優待乗車証 (注)
100株以上 1,000株未満	4枚	-	-
1,000株以上 2,000株未満	4枚	4枚	-
2,000株以上 3,000株未満	4枚	8枚	-
3,000株以上 4,000株未満	4枚	12枚	-
4,000株以上 5,100株未満	4枚	16枚	-
5,100株以上 15,000株未満	4枚	-	1枚
15,000株以上 30,000株未満	4枚	-	2枚
30,000株以上 50,000株未満	4枚	-	3枚
50,000株以上 100,000株未満	4枚	-	4枚
100,000株以上 1,000,000株未満	4枚	-	5枚
1,000,000株以上	4枚	-	10枚

※特急列車をご利用の場合は、別に特急券をお買い求めください。
(注)次回以降発行分については、近鉄バス路線にご乗車いただけません。
詳細は裏表紙をご確認ください。

株主様ご優待券

100株以上ご所有の株主様に対し、近鉄グループ施設などのご優待券を一律1冊交付いたします。

発送時期と有効期間

	3月31日現在の株主様		9月30日現在の株主様	
	発送時期	有効期間	発送時期	有効期間
近畿日本鉄道線沿線招待乗車券 株主様ご優待券	6月下旬	到着後 12月31日まで	12月上旬	到着後 7月31日まで
株主優待乗車券	5月20日頃	到着後 11月30日まで	11月20日頃	到着後 5月31日まで
株主優待乗車証	5月20日頃	6月1日から 11月30日まで	11月20日頃	12月1日から 5月31日まで

※株主様ご優待券の有効期間は、ご優待によって上記と異なる場合がございます。

配当金のお受け取り方法について

配当金は、証券口座や銀行口座でお受け取りいただくことができます。

一度お手続きいただきますと、以後、配当金が口座へ自動的に入金されますので、配当金のお受け取り忘れや配当金領収証の紛失などがなく、確実に配当金をお受け取りいただけます。

〈お手続先〉

- ①証券会社に口座をお持ちの株主様
→ 株主様の口座のある証券会社
- ②証券会社に口座をお持ちでない株主様
(特別口座の株主様)
→ 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL. 0120-094-777 (通話料無料)

単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内

■単元未満株式の買増し

株主様がご所有の単元未満株式と併せて1単元(100株)となる数の株式を、当社が市場価格にて株主様に売却(株主様にとっては買増し)いたします。

(例) 20株ご所有の株主様 → 80株を買増しして、100株にすることができます。

■単元未満株式の買取

株主様がご所有の単元未満株式を、当社が市場価格にて買取いたします。

(例) 20株ご所有の株主様 → 20株を当社に売却することができます。

〈お問い合わせ先〉

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL. 0120-094-777 (通話料無料)
※特別口座に当社株式をご所有の株主様のマイナンバーのお届けにつき
ましても、上記のお問い合わせ先にご連絡ください。
※証券会社等の口座に単元未満株式をご所有の株主様は、お取引口座の
ある証券会社等へお申し出ください。